

人命救助

投稿日：2014年8月1日 | カテゴリー：看護部ブログ

本院の看護師の田中茜さんが『人命救助』で小野市消防本部より感謝状をいただきました。



7月15日の夜、田中さんが小野市の大池総合公園で30分間のジョギングを終え帰ろうとしたところ、心肺停止状態で倒れている男性を発見しました。偶然に居合わせた本院の看護師2名と周囲におられた方々と協力し、AEDや心臓マッサージで救急隊が到着するまでに呼吸と心拍が再開しました。

田中さんは、約8年前の旧三木市民病院でのICLSチームの立ち上げ時より、インストラクターとして活動しています。その経験から「落ち着いて行動できました。まわりの方たちとの連携がとれました。」と語っています。

のちにAEDの解析をみると、訓練通りの行動ができていたことが証明されました。

医療従事者であっても、施設外で心肺停止状態の人を発見した時に、とっさに動けないのではないかと思います。長年ICLSインストラクターとして活動してきた経験が的確な判断と指示に繋がり、まわりの方々と協力して『人命救助』ができたと考えられます。

(看護次長 高田としみ)